

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 4 月 8 日

事業所名 放課後等デイサービス 暖母

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	8		指定基準に基づき指導訓練スペースを十分に確保している。他児との接触がないよう観察の配慮をおこなっている。	
	2	職員の配置数は適切である	7	2		指定基準に基づき職員の配置をしている。利用人数や特性に合わせ、対応している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		7	2	行動範囲内の安全確保に努めている。	事業所が2階にあるため、手すりの設置やつまづきなどがないような環境づくりの配慮が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			職員全員がPCDAサイクルに積極的に参画し業務改善に取り組んでいる。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	6	2		保護者向け評価表を活用し保護者には評価表をお願いしているが、全保護者からの返信までは至っていない。フィードバックも来ていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		3		ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2	1	ミーティングをおこない職員全体で情報把握に努めている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9				職員間の勉強会や各研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	6			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			児童発達支援管理責任者を中心に職員全体でおこなっている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1		室内や屋外での活動をおこない、メリハリをつけている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			保護者と学校と話し合い、有意義な日々を送れるように努めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			日々の個人記録をもとに利用者様の課題に合わせて職員間で今後の支援を考えて共有している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			日々の連絡事項や気を付けなければならない点、支援課題を共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			個別記録書として、本児のその日の様子や課題に応じた記録をおこなっている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	8				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	6		交通渋滞や他校での時間のずれが生じ、時間が間に合わないことがあった。	学校と保護者、時間割のトリプルチェックをおこない、時間の徹底や交通渋滞を考慮した時間の調整をおこなっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9			適宜必要に応じて行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			9		近隣の公園や他施設などの利用をおこない、他の子どもさんたちとの関わりをおこなっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	8			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			連絡帳や電話、メールなどで密に連絡を取り合っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	7			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			契約時におこなっている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			いつでも相談に乗れるように声掛けをおこなっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	7		今後協議していく予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			全職員へ必ず周知できている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1			
	35	個人情報に十分注意している	9			情報提供する場合は保護者の同意を得ている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	8		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	7		職員が目につくよう事務所の壁などに掲示している。	保護者様には周知できていない箇所があるので、周知して頂けるよう徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		9			今後避難訓練や緊急時の対応などを実施予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	4		職員間や各機関等への相談を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9				身体拘束をおこなう事案がない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			アレルギー研修やエビペン研修参加をおこなっている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			ヒヤリハットノート作成し、必要時は記入するようになっている。	